

## SIMPLE RAZOR

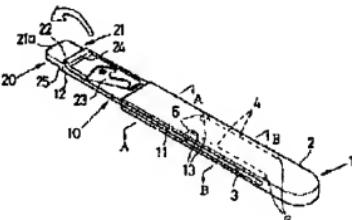
**Numéro du publication:** JP2000287743  
**Date de publication:** 2000-10-17  
**Inventeur:** GOTO TAKAYUKI  
**Demandeur:** YOSHINO KOGYOSHO CO LTD  
**Classification:**  
- internationale A45D27/24; B26B21/04; B26B21/52; A45D27/00;  
B26B21/00; (IPC1-7): A45D27/24; B26B21/04;  
B26B21/52  
- européenne  
**Numéro de demande** JP19990095631 19990402  
**Numéro(s) de priorité:** JP19990095631 19990402

[Signaler une erreur concernant les données](#)

## Abrégé pour JP2000287743

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve safety by shortening the length of a razor not in use in comparison with the length in fuse.

**SOLUTION:** This simple razor has a handle member 1 forming an opening part 4, which is opened inside a case, at the latter half part of a fitting groove 3, a sliding member 10 for fitting slide rods 1 into both the fitting grooves 3 so as to freely slide it while bending the rear end parts of both the slide rods into the opening part 4 as a stopper part 13 and an edged member 20 housing the rear part of an edged plate 21 so as to freely enter/leave the front part of the handle member 1 and freely turnably fitting a link rod 12 into a groove part 22 at the front part of the edged plate 21. In this case, by moving the sliding member 10 forward, the rear part of the edged plate 21 is moved out of the front end face of the handle member 1 forward and can be inverted forward with the link rod 12 as a center and by inverting the rear part of the edged plate 21 forward, the front part of the edged plate 21 can be housed so as to freely enter/leave the inside of the front part of the handle member 1.



Les données sont fournies par la banque de données [esp@cenet](mailto:esp@cenet) - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-287743

(P2000-287743A)

(43)公開日 平成12年10月17日(2000.10.17)

(51)IntCl<sup>7</sup>

識別記号

F I

デコード(参考)

A 4 5 D 27/24

A 4 5 D 27/24

B 2 6 B 21/04

B 2 6 B 21/04

21/52

21/52

Z

A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O.L. (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-95631

(71)出願人 00006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(22)出願日 平成11年4月2日(1999.4.2)

(72)発明者 後藤 孝之

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉

野工業所内

(74)代理人 100068157

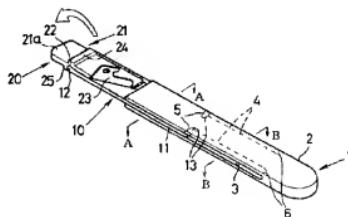
弁理士 今岡 良夫 (外1名)

(54)【発明の名称】簡易カミソリ

(57)【要約】

【課題】カミソリの不使用時の長さを使用時に比べて短くし、かつ安全性の向上を図る。

【解決手段】嵌合溝3の後半部に、筒内部に開口する開口部4を形成した柄部材1と、両嵌合溝3内へ摺動棒11を摺動自在に嵌合させると共に、両摺動棒の後端部を開口部4内へ屈曲させてストッパ部13とした摺動部材10と、柄部材1の前部4内へ出入自在に刃付き板21後部を収納させると共に、刃付き板21前部の溝部22へ連結棒12を回動自在に嵌合させた刃付き部材20とを有し、摺動部材10を前方移動させることで、刃付き板21後部が柄部材1前端面から前方へ抜出して、連結棒12を中心前に前方へ反転可能に、かつ該刃付き板21後部を前方へ反転させることで、刃付き板21前部が柄部材1前部内へ出入自在に収納可能に形成した。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】左右方向断面は横長の長方形状で、前後方向に長く設けた前端面開口の簡抜部2を有し、かつ該簡状部の後部を除いて左右両外側面に形成した前後方向への嵌合溝3の後半部に、筒内部に開口する前後方向への開口部4を形成して、該開口部4を前端部を第1ストッパ面5に、それぞれ形成した柄部材1と、該柄部材1の左右両嵌合溝3内へ左右一对の摺動棒11を摺動自在に嵌合させ、かつ柄部材1前端面よりも前方へ突出させた上記一对の摺動棒11前端部を左右方向への連結棒12で連結すると共に、両摺動棒の後端部を上記開口部4内へ屈曲させて、該開口部4内へ摺動可能で、かつ上記第1ストッパ面5に係合可能なストッパ部13となし、該ストッパ部を第2ストッパ面6へ当座させた摺動部材10と、

上記柄部材1の前部内へ出入自在に刃付き板21後部を収納させると共に、柄部材前端面から前方突出する刃付き板21前部の上下面の一方に左右方向への溝部22を形成して、該溝部22内へ上記連結棒12を挿入不能に、かつ回転自由に嵌合させると共に、柄部材1内へ収納させた刃付き板21後部の左右側縁から刃先を一方へ突出する刃付き部材20とからなり、

上記摺動部材10を前方移動させることで、刃先を有する刃付き板21後部が柄部材1前端面から前方へ抜出しに、連結棒12を中心には前方へ反転させに、かつ該刃付き板21後部を前方へ反転させて摺動部材10を後方移動させることで、刃付き板21前部が柄部材1前部内へ出入自在に収納可能に形成したことを特徴とする簡易カミソリ、

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は筒状の柄部材に刃付き部材を収納した簡易カミソリに関する。

## 【0002】

【従来の技術】眉毛のトリミング等に使用するカミソリとして、柄の先端に刃を有し、不使用時に、紙や成樹脂からなるキャップをかぶせるものが知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】この種のカミソリは化粧品と共にバッグ等に収納して持ち運ぶことが多いが、従来のカミソリは単に刃にキャップをかぶせているに過ぎず、使用時と不使用時とでは長さが変わらないため、特にバッグが小さい物では収納に多少の不便があった。また、キャップの取付けがゆるい場合には、バッグ内で、或いは子供の不用意な取扱いによりキャップが外れるおそれがあり安全性において必ずしも十分とはいえないかった。

【0004】本発明は刃付き部材を柄部材内へ収納せることにより、使用時に比べて長さを短くし、かつ安全

性の向上を図ろうとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】第1の手段として、左右方向断面は横長の長方形状で、前後方向に長く設けた前端面開口の簡抜部2を有し、かつ該簡状部の後部を除いて左右両外側面に形成した前後方向への嵌合溝3の後半部に、筒内部に開口する前後方向への開口部4を形成して、該開口部4前端部を第1ストッパ面5に、かつ開口部後端部を第2ストッパ面6に、それぞれ形成した柄部材1と、該柄部材1の左右両嵌合溝3内へ左右一对の摺動棒11を摺動自在に嵌合させ、かつ柄部材1前端面よりも前方へ突出させた上記一对の摺動棒11前端部を左右方向への連結棒12で連結すると共に、両摺動棒の後端部を上記開口部4内へ屈曲させて、該開口部4内へ摺動可能で、かつ上記第1ストッパ面5に係合可能なストッパ部13となし、該ストッパ部を第2ストッパ面6へ当接させた摺動部材10と、上記柄部材1の前部内へ出入自在に刃付き板21後部を収納させると共に、柄部材前端面から前方突出する刃付き板21前部の上下面の一方に左右方向への溝部22を形成して、該溝部22内へ上記連結棒12を挿入不能に、かつ回転自由に嵌合させると共に、柄部材1内へ収納させた刃付き板21後部の左右側縁から刃先を一方へ突出する刃付き部材20とからなり、上記摺動部材10を前方移動させることで、刃先を有する刃付き板21後部が柄部材1前端面から前方へ抜出しに、連結棒12を中心には前方へ反転させに、かつ該刃付き板21後部を前方へ反転させて摺動部材10を後方移動させることで、刃付き板21前部が柄部材1前部内へ出入自在に収納可能に形成した。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る簡易カミソリの実施の形態を図面を参照しながら説明する。1は柄部材で、左右方向断面は横長の長方形状で、前後方向に長く設けた前端面開口、かつ後端面開口の簡抜部2を有し、かつ該簡状部の後部を除いて左右両外側面に形成した前後方向への嵌合溝3の後半部に、筒内部に開口する前後方向への開口部4を形成して、該開口部4前端部を第1ストッパ面5に、かつ開口部後端部を第2ストッパ面6に、それぞれ形成する。

【0007】10は摺動部材で、左右両嵌合溝3内へ左右一对の摺動棒11を摺動自在に嵌合させ、かつ柄部材1前端面よりも前方へ突出させた一对の摺動棒11前端部を左右方向内の連結棒12で連結すると共に、両摺動棒11の後端部を開口部4内へ屈曲させて、該開口部内を摺動可能で、かつ第1ストッパ面5に係合可能なストッパ部13となし、該ストッパ部を第2ストッパ面6へ当接させる。

【0008】20は刃付き部材で、柄部材1の前部内へ出入自在に刃付き板21後部を収納させると共に、柄部材1前端面から前方突出する刃付き板21前部を摘み部

21aとなし、かつ該摘み部の後側縁下面に左右方向への溝部22を形成して、該溝部内へ連結棹12を抜出し不能に、かつ回動自在に嵌合させる。

【0009】また、刃付き板21後部の左側縁を後斜め右方向へ傾斜させると共に、刃付き板21後部上面に凹部を形成し、該凹部内へ刃23を左右方向へ抜出し不能に嵌合させて刃先を左側縁から突出させる。さらに、溝部22より上方刃付き板21部分の上面に左右方向への第1係合突条24を、かつ図7に示すように溝部22の前後両外縁に第2係合突条25を、それぞれ形成して、第1係合突条24と後方に位置する第2係合突条25とのそれぞれの後面を柄部材1の前端面へ係合せらる。

【0010】次に本実施形態の作用について説明する。図1は刃先を有する刃付き板21後部が柄部材1内へ収納された状態を示すもので、ストッパ部13は第1ストッパ面5に、かつ第1及び第2係合突条24、25は柄部材1前端面に、それぞれ係合している。この状態から刃付き板21後部を柄部材1から抜出すためには、摘み部21aを前方へ引いてストッパ部13が第1ストッパ面5へ当接するまで摺動部材10を前方へ摺動さればよく、すると刃付き板21後部が柄部材1前端面から前方へ抜け出で、図2に示すように刃付き部材20が連結棹12を中心へ前方へ反転可能となる。

【0011】次いで、図3に示すように該刃付き板21後部を前方へ反転させて、摘み部21aを柄部材1の前方へ位置させた後、図4に示すように摺動部材10を後方移動させて摘み部21aを柄部材1内へ収納させる。この状態において、刃23が柄部材1から露出しているため、柄部材1を把持することにより眉毛等のトリミングをすることが可能となる。

#### 【0012】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、不使用

時は刃付き部材を柄部材内へ収納させるため使用時に比べて全体の長さが短く、従って、パック等への収納が便利である。また、刃付き部材を柄部材から抜出しても、刃付き板を反転させない限り刃先の使用は不可能であり、従って、刃先を使用するには抜出しと反転との二重の操作が必要になることから安全性が向上する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る簡易カミソリの斜視図。

【図2】同じく、刃付き部材を柄部材から抜出した状態を示す斜視図。

【図3】同じく、刃付き板を反転させた状態を示す斜視図。

【図4】同じく、刃付き板前部を柄部材内へ収納させた使用可能状態を示す斜視図。

【図5】同じく、図2のA-A線に沿う断面図。

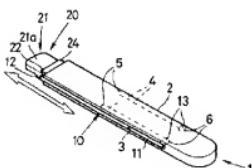
【図6】同じく、図2のB-B線に沿う断面図。

【図7】同じく、図3のC-C線に沿う断面図。

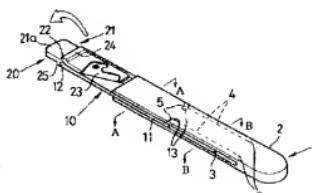
#### 【符号の説明】

- 1 柄部材
- 2 簡状部
- 3 嵌合溝
- 4 開口部
- 5 第1ストッパ面
- 6 第2ストッパ面
- 10 摺動部材
- 11 摺動棹
- 12 連結棹
- 13 ストッパ部
- 20 刃付き部材
- 21 刃付き板
- 22 溝部
- 23 刃

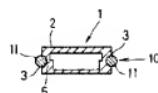
【図1】



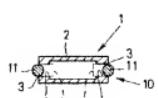
【図2】



【図5】

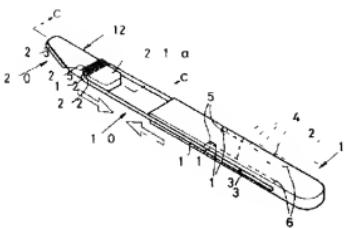


【図6】

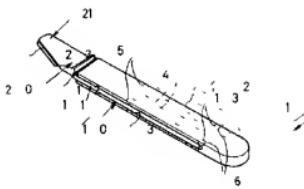


〔(4)〕 0 0-07 マニシル 124-131 (P=0.0)

【図3】



【図4】



【図5】

